

特定非営利活動法人手賀沼トラスト 会報 第25号(発行日:平成25年8月1日)

「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎(TEL:04-7182-0387) 編集責任者 國方幸生(TEL:04-7184-3385)

事務所:我孫子市白山二丁目13番5号

e-mail:info@teganuma-trust.jp ホームページ:http://teganuma-trust.jp/



「手賀沼トラスト展&日暮朝納氏遺作展」を終えて

理事長 遠藤織太郎

手賀沼トラスト創立15周年記念事業の第2弾「手賀沼トラスト展&日暮朝納氏遺作展」は、あびこ市民プラザギャラリーを会場として、7月5日(金)から10日(水)の6日間にわたり盛会裡に開催されました。この間の来場者は予想を遥かに超えた1,239名(スタッフを含めると1,375名)となりました。当ギャラリー管理者のお話では、この種の展示会での通常の2倍にもなるとのことでした。しかも、来場者から頂いた多くのコメントから遺作展、手賀沼トラスト展とも、その内容に対して大変高い評価を賜っています。

最終日、幕を閉じるときのスタッフ皆さんの表情は疲労感ではなく、満足感、充実感、誇りに満ちた笑顔に包まれていました。全会員の皆さんに、まずはこのことを報告し、併せてこれまでのご協力、ご尽力に対し、改めて厚く感謝申し上げます。

私は6日間、会場に出て日暮朝納氏の遺作展(油絵12点、水彩画18点)の作品を鑑賞させていただき、来場者には、できる範囲でご案内させていただきました。生涯をかけて手賀沼を愛し、手賀沼を描き続けた日暮さんの手賀沼への思い、それを一口で言うことは難しいのですが、わたしなりに申せば、それは日暮さんの手賀沼への畏敬の念であり、愛情、祈りであり、それがあの絵画となり、その内容は、幽玄、恩恵、静寂であり、癒しである。何度観ても魅了されるのでした。私は、そうだ、この思いこそ日暮さんが手賀沼トラストを立ち上げた理念であり、根本であったのだと再認識したのでした。

手賀沼トラストはNPO法人となり、創立15周年を迎え、これからも「自然と共生する地域づくり」を根本精神として、いろいろな活動を展開して行きたいと願っています。皆さんどうかそれぞれの思いを重ねて、新たな楽しい活動に向けてコラボレーションの輪を広げ、前進させましょう。

6月29日(土)

ジャガイモの収穫とカレーパーティー

福井リーダーからジャガイモについての講義で、日焼けしたイモは一度に 25kg 食べなければ大丈夫(知らなかったなあ、食べたらダメと思っていました)。保存は 1~5℃の冷蔵庫で(カミさんから家の冷蔵庫には入らないと言われ、これはあえ無く却下)。本には書いていない講義ありがとうございました。

その後、ジャガイモの収穫ですが、つい先日植えたと思ったのに早くもリッパなジャガイモがザクザク出てきて感激ものです。作業も手際よく、アツという間の大収穫に感心しました。

さて楽しいカレーパーティー。料理長、シェフ、2年生以上の女性に作っていただいたカレーはさすが美味しくいただき、これも感激ものです。茹でたジャガイモ、手作りのオカズも美味しく、チームの会話も弾み楽しみました(ビールがないのが残念)。

午後の田んぼの草取りは初めての経験ですが大変ですね。稲作は本当にいろいろ工夫とご苦労があることに毎度まいど痛感しております。

心地よい疲れのあと、家に帰りジャガバターとシチューで美味しいビールを飲んだのは勿論のことです。ハッピーな一日でした。

3月から参加の一年生ですが、いろいろな勉強、体験をさせていただきありがとうございます。カミさんから熱中症等、皆の迷惑になるから休んだらと言われてはいますが、皆勤賞目指して頑張りたいと思っています。ハマりました。これからも宜しくお願いします。手賀沼トラスト、農教室、皆様に感謝感謝!!! (松林 信義 記)

7月13日(土)

農教室に参加して

◆サトイモの雑草とり

遠藤先生から、春・秋草と違い、夏草は一斉に生えます、雑草を根から引き抜くと、イモ科の植物は、根が浅いので雑草に根を持っていかれてしまう、雑草の上の部分刈り払い、その場に置いてサトイモの根を傷めない雑草とりの説明がありました。圃場に行くと、雑草の海にサツマイモは埋まり、サトイモは葉っぱだけが雑草の上に飛び出ている状態でした。サトイモ畑にかがんで分け入ると、サトイモの太い茎の林とイネ科の雑草が水滴で溢れ、カエル、バッタ、クモ、アリさん等の虫が棲みつき、まるでトトロの森のような世界でした。ギザギザの鎌で雑草を刈り払い、どうにか芋畑らしくなりました。

◆トウモロコシの収穫

背丈ほどの高さのトウモロコシ畑に入り、トウモロコシ一人3本の収穫、お土産用に3本×60本=180本、ネコ(一輪車)一杯の大収穫。今年のトウモロコシはゴールドラッシュ種、生食してみると苦味なく美味しい。私の借りている市民農園のトウモロコシは、農教室より実が入って少なく、甘くない。肥料が足りないのか、育て方が悪いのか。先週は、北側一列がカラスかハクビシンに食い荒らされました。動物は利口で、美味くなってからでないと食べない。ジャコウネコ科のハクビシンが、夜にどんな格好で食べにくるのか?

◆スイカの収穫

今年は寒かったので、雄花が多く、雌花が少ない。スイカの収穫はおくれて2週間後になった。本日は出来の良い3個を選び試食した。スイカの切り方は遠藤先生が模範を示す。スイカの上下、つる側と尻側に切り落としました。白色でした。残念! 2個目は上下を切ると赤い部分が透けて見え、縦に切ると真っ赤な実が顔を出しました。皆から拍手が湧きあがりました。食べると水っぽく甘かった。スイカの見分け方は、ヘタの茎から枯れたつるが出ていると熟しているとの説明がありました。(岡田 誠一 記)

7月20日(土)

案山子作りに参加して

今日は農教室の会員による案山子作りが行われました。手賀沼トラスト創立15周年記念行事にも位置付けされ、今年で4回目になるとのことです。最初に、遠藤理事長により「トラスト活動とかかし」について講話がありました。田んぼに立っている一本足の案山子は昔から田園風景に欠かせない伝統的な里文化であること。トラストの活動理念である「自然と共生する豊かな地域づくり」に相通じるものであり、一般市民との交流の場になる「案山子祭り」は意義のあることを学びました。

続いて、福井リーダーから案山子の作り方の留意点を教えてもらいました。骨組の接続法、衣類の着せ方、頭がたれない結束法などです。1チーム当り2体制作を目標に、7チーム編成で案山子作りの始まりです。

会員メンバーが持ち寄った洋服がバザーの会場のようにハンガー吊りになって、その中からあれやこれやと衣類を選びました。そして、服の中、手足、顔の部分にも藁を詰め、人の形を作っていました。それぞれのチームごとに力を合

わせて思い思いのデザインの案山子を予定の午前中に作り上げることが出来ました。作品は最近流行のご当地ゆるキャラ、NHKドラマの「八重の桜」の八重さん、じえじえの海女ちゃんなど 14 体で、作品の案山子は制作者のメンバーより自己紹介がありました。本番デビューは 7 月 27 日(土)からで、一般参加者制作の 9 体も加わり、田んぼの周りは暫らくの間賑やかになりそうです。後片付けのあとの休憩時には、今朝収穫したばかりの甘いスイカに大満足。童心に帰ったような楽しい案山子作りの一日でした。(黒坂 秀雄 記)

7 月 20 日(土)

かかし作り

転勤で 5 年毎の引越しをし、我孫子に来て 12 回目の夏を迎えました。子供達も独立し、豊かな老後を送るために地域に一人でも多くの知人や友人を作ろうと思い、家庭菜園を借りていた周りの人に紹介されてのトラスト入会でした。

月 2 回ほどの農教室では何年かぶりに田植えをし、ジャガイモ、トウモロコシ、ナスと次々と作物が収穫できるようになりました。研修旅行や展示会と次々と行事の行われる中、明日はいよいよ田んぼに設置するかかし作りという日になりました。何を作ればよいのやら、思案するも良案が思い浮かばないまま当日を迎えてしまいました。

当日の朝、先週の日曜日に一般参加の人達の作ったかかしを見て、見事な出来映えに驚いてしまいました。しかし、トラストの皆さんもいろいろとアイデアを持ち寄っての参加で、私の心配は取越し苦労となり、気が付けば時の過ぎるのも忘れてのかかし作りです。うな吉君、チーバ君、キティーちゃん、ふなっしーと今ブームになっているゆるキャラの中、わがチームは「魔女の宅急便」というかかしにチャレンジしました。顔やボディー、箒にまたがる魔女を作るのに、「ああしたら」「こうしたら」と次々とメンバーが意見を出し合って動きのある可愛らしい魔女が出来上がりました。一般参加の人達が 9 体、トラスト会員が 14 体と計 23 体のかかしが出来上がり、7 月 27 日には私たちの田んぼに設置すること、それは見事な景観になるでしょう。

自宅に帰ると携帯電話で撮った写真を主人がプリントしてくれ、しばらくそれに見入っていました。8 月 24 日(土)はいよいよ「かかし祭り」、スイカ割りや昔遊び等イベントがあり、その日が来るのをワクワク心待ちにしております。トラストの皆さま、今後とも宜しくお願いします。(宮武 昌子 記)

会員コーナー

わが故郷～仙台～

佐藤 由里

私のふるさは宮城県仙台市です。そのの良さは 7 年前に首都圏内での生活が始まってから分かりました…。まず、千葉に来て山が見えないことが寂しかったです。仙台では毎日泉ヶ岳を、冬になると雪を頂く奥羽山脈が身近にありました。東側は海が開けていて開放的で、西側に山があり守られている感じ。海にも山にも約 30 分で行くことができ、海の幸も山の幸も手軽に食べられる場所です♪

ああ、夏はほやが美味しいんです。海のパイナップルといわれるほや、酢の物もいいですし、蒸したほやもいいですよ～。うには取り寄せて食べられますが、ほやは新鮮でないと美味しくないので、こちらでは食べません。冬は雪菜。こちらでは見かけない菜っ葉です。葉っぱが甘くて厚みがあって、これまた美味しいですよ～。そして、日本酒！特に純米酒がお勧めです。蔵元がたくさんあり、味も様々。好みの蔵元を探すのが楽しいです。私は県北の蔵元が好みなのですが、何故だろうと考えると、もしかしたら米！？と気付きました。両親が県北の出身で、親戚から送られてくるお米を食べて育ちました。米と水が体に馴染んでいるからでしょうか。皆さま仙台にきたら美味しい料理とお酒を堪能してくださいね。

一度ホームシックにかかった時に、石川啄木が上野駅に東北の訛を聞きに行ったという気持がよく分かりました。テレビで東北の訛を聞くと、その抑揚におぼちゃんたちと過ごした子どもの頃の事を思い出して、懐かしくなります。あの優しい雰囲気抑揚は好きなのに、自分は話せなくて残念です。

仙台の街は道路が広くて街路樹も多く、その木陰の道はとてめ気持が良いです。中心地の商店街は歩行者専用の広いアーケードが T 字型に広がっていて、車を気にせずゆったりとショッピングを楽しめます。また、定禅寺通りは車道の真ん中にけやきの街路樹と歩ける広い道があり、そのスペースではお祭りやイベントも開催されます。

市民活動も盛んな地域で、街中のこれらの道を使って、音楽のイベントが開催されます。春はとっておきの音楽祭(障がい者も健常者も一緒に♪)、夏は定禅寺ストリート JAZZ フェスティバル(プロもアマチュアも一緒に♪)、秋はゴスペルフェスティバル等々、街中に音楽があふれます♪

百万人都市だけれど杜の都と言われる仙台。青葉山と広瀬川～中心地からすぐそばに緑豊かな山々や鮎が泳ぐ清流がある、自然と人が共存している素敵なところですよ。

※【農地法解説】は都合によりお休みします。次号(第 26 号)に掲載しますので、お楽しみに！

● 8月～9月度 活動計画（全会員が対象の「合同活動」、「イベント」等に「網かけ」をしています。）

活動日	開始時間	活動区分	活動内容	担当部門
8 4 日	8:30	定例活動	清掃、根戸城址、ミカン山除草・伐採、養蜂管理	環境保全G
8 10 土	8:30	農教室	ミニカボチャ、ニガウリ収穫、圃場管理	農事農教室G
8 18 日	8:30	定例活動	清掃、ハス田、ミカン山、養蜂管理	環境保全G
8 24 土	9:00	合同活動	第4回案山子祭り（スタッフは8時集合）	交流事業G
8 29 木	9:00	竹教室		環境保全G
8 31 土	8:30	合同活動	ソバ播種	農事農教室G
8 31 土		農教室	ソバ播種終了後、圃場管理	々
8 31 土	18:00	会議	第5回定例理事会（けやきプラザ8階第2会議室）	事務局
9 1 日	8:30	合同活動	ハザ作り	農事農教室G
9 1 日		定例活動	ハザ作り終了後 清掃、樹林地・養蜂管理	環境保全G
9 7 土	8:30	農教室	ニンジン、秋冬野菜播種、圃場管理	農事農教室G
9 7 土	14:00	会議	事務局会議（けやきプラザ10階A会議室）	事務局
9 14 土	8:30	合同活動	稲刈り、天日干し	農事農教室G
9 15 日	8:30	定例活動	清掃、養蜂管理	環境保全G
9 21 土	8:30	合同活動	稲刈り、天日干し	農事農教室G
9 26 木	9:00	竹教室		環境保全G
9 28 土	8:30	合同活動	稲の脱穀	農事農教室G
9 29 日	18:00	会議	第6回定例理事会（けやきプラザ8階第2会議室）	事務局

おかげさまでございました！

「手賀沼トラスト展&日暮朝納氏遺作展」に大勢の方々から「お祝い金」「花かご」「お菓子等」を頂きました。ご報告とお礼を申し上げます。

- ◆ お祝い金：日暮保巳様、湯下庄一郎様、児玉知都様、福井喜代子様
- ◆ 花かご：美術協会役員一同様、大利根美術家協会様
- ◆ お菓子等：若穂井ヨリ子様、小林芳子様、杉本静子様、松本みよ子様、上野竹子様、類地佑子様、日暮満子様、山口好見様、森フサ様、植田みのり様、日暮昭枝様、荷見睦子様、峯尾玲子様、田崎末満様、平井幸夫様

（事務局 15PJT）

「お知らせ」

8月24日(土)は第4回「かかし祭り」です。8月1日現在、田んぼには7月20日以降、「あらきのお家」「手賀沼ファーム」から届けられた5体を含め、28体のかかしが賑やかに立ち並びました。今回の「かかし作り」には我孫子市、柏市内の小学校の子どもさんたちが大勢参加してくれました。常連になった「あらきのお家」の皆さんからも秘かに金賞を狙う力作が届きました。当日は9時から「かかしコンテスト」をはじめ、スイカ割り、カキ氷、昔遊び等等など楽しい企画が盛りだくさんです。ご家族、ご近所やお友達をお誘いのうえご参加下さるようご案内いたします。
（15PJT「かかし祭り」担当）

ご紹介

「手賀沼トラスト・日暮朝納氏遺作展を訪ねて」と題して、来場者の方から3点の詩が寄せられましたのでご紹介いたします。

野趣に満ち 詩情溢るる手賀沼を

日暮翁の遺作に偲ぶ

やささに 満ちたる手賀沼風景画

描き人の心映すか

手賀沼を 描きこころはメルヘンの

国を尋ねる越き詩情か

（平成25年7月5日 恍惚翁）

編集後記

- ◆ 創立15周年記念事業第2弾の展示会も無事終了しました。期間中は猛暑日の連続にも関わらず大勢の方にご来場いただきました。日暮朝納さんの遺徳とともに手賀沼トラストの活動に多くの方々に関心を寄せて下さっていることに、一層気が引き締まる思いがしました。これからも、誠意をもって、謙虚に活動を続けていきたいと思っております。
- ◆ 今年も半年が過ぎました。早いものです。このところの異常気象で、各地で災害が多発しています。幸い当地域は被害はありませんが、日ごろの備えが大事と痛感しております。
- ◆ 夏休み真っ只中、わが家は白山中学校のすぐ西隣。毎日のように体育館からは吹奏楽部の練習の音が、プールからは元気な声が絶えません。子どもたちから元気もらっています。（國方記）